



講座の内容

Section 1. 講座とBERTの概要

Section 2. シンプルなBERTの実装

Section 3. BERTの仕組み



Section 4. ファインチューニングの活用

Section 5. BERTの応用

今回の内容

- 1. Section4の概要
- 2. 転移学習とファインチューニング
- 3. シンプルなファインチューニング
- 4. ファインチューニングによる感情分析

教材の紹介

- •01_simple_fine_tuning.ipynb
- •02_fine_tuning_for_classification.ipynb



転移学習とは?

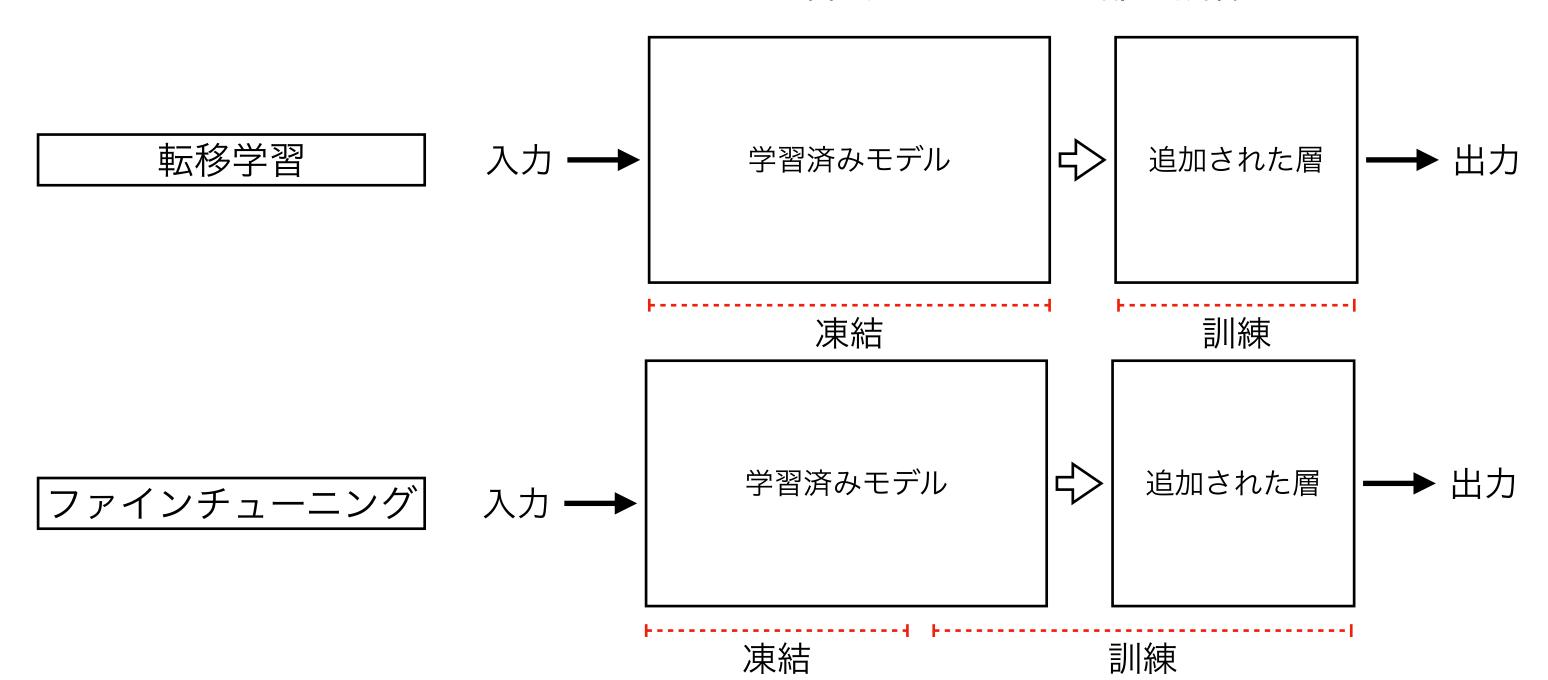
- **転移学習**(Transfer Learning)とは、ある領域(ドメイン)で学習したモデルを 別の領域に適用すること
- 多くのデータが手に入る領域で学習させたモデルを少ないデータしかない領域に 適応させたり、シミュレーター環境で訓練したモデルを現実に適応させたりする ことが可能に
- 複数のタスク共通の、「とらえるべき特徴」が存在する

転移学習とは?

- 既存の学習済みモデルは「特徴抽出器」として用いられるが、 パラメータは更新されない
- 出力側に追加した層のパラメータが更新されることにより、学習が行われる
- 入力に近い部分の重みを固定し、出力に近い部分だけ学習させることで 既存のモデルを新しい領域へ適用することができる

転移学習とファインチューニング

- 転移学習は追加された層のみを訓練、学習済みモデルは凍結
- **ファインチューニング**は学習済みモデルの一部も訓練



転移学習のメリット

• 学習時間の短縮

- → 既存の学習モデルを特徴抽出に利用することで、学習時間を短縮できる
- データ収集の手間が省ける
 - → データ収集には大きな手間がかかるが、学習済みのモデルをベースにすることで 追加するデータが少なくても精度の良いモデルを訓練できる
- 既存の優れたモデルを利用できる
 - → 膨大なデータと多くの試行錯誤により確立された既存のモデルの 特徴抽出能力を利用することができる



PyTorch-Transformers or Transformers?

PyTorch-Transformers

→ https://pytorch.org/hub/huggingface_pytorch-transformers/

Transformers

→ https://huggingface.co/transformers/

Migration

→ https://huggingface.co/transformers/migration.html

シンプルなファインチューニング

•01_simple_fine_tuning.ipynb



ファインチューニングによる感情分析

•02_fine_tuning_for_classification.ipynb

次回の内容

Section 1. 講座とBERTの概要

Section 2. シンプルなBERTの実装

Section 3. BERTの仕組み

Section 4. ファインチューニングの活用



Section 5. BERTの応用